

新人保育者スキルアップ講座

仁愛女子短期大学 幼児教育学科

本学幼児教育学科の卒業生の多くは、幼稚園や保育所などで、幼児教育・保育に携わっています。学生時代とは異なり、責任の伴う現場の保育者としての1年目は、喜びや楽しみよりも、悩みや苦しみの方が大きいかもしれません。とくに、働き始めて3~4ヶ月までは、毎日が慌ただしく過ぎていくでしょう。本講座は、少しずつ職場にも慣れ始めてくると思われる毎年8月に、前年度の卒業生を対象に開催されています。今回も、平成21年3月に卒業した卒業生が、新人保育者としてさらに力を発揮していけるように、保育実践能力の向上と同期生との情報交換を目的として、開催されました。今年の参加者は27名でした。

葛藤などを、時には笑顔で、時には涙しながら、共有する場面もありました。話が尽きず、設定された時間を過ぎても語り合うクラスや、なかなか会えないからと仲間同士連れ立って会場を後にする姿もありました。

(文責：青井夕貴)

日時	平成22年 8月 1日(日) 13時~16時20分
場所	仁愛女子短期大学
内容	①実技講習 テーマ 「子どもと造形活動ー製作を通して」 講師 伊東知之 先生(仁愛大学) ②クラス別分科会 テーマ 「友人と語ろう」 担当 本学教員

【実技講習】

今回は、卒業生にも馴染みのある仁愛大学の伊東知之先生をお招きしました。まずは、子どもの現状から造形表現活動の意義などの理論について学びました。その後、空き瓶を使った風鈴製作を行い、子どもたちのことを考えながら、思い思いの作品を完成させていました。まさに季節を感じられる風鈴でもあり、「園に持ち帰って、今度は子どもたちと一緒に作りたい！」という声がたくさんあがっていました。

【クラス別分科会】

2年間を共にしたクラスの仲間や、在学時にクラスアドバイザーだった先生やお世話になった先生と、お互いの近況を報告し合いました。1年目だからこその悩みや

